

# 令和3年度 家庭教育支援プログラム指導者研修② 実施報告

実施日：令和3年6月16日（水）

## 【午前の研修】

### ○ 事例発表「親学習プログラムについて」

#### 栃木県オピニオンリーダー連合会那須ブロック

那須地区で家庭教育支援に携わっている「栃木県オピニオンリーダー連合会那須ブロック」の皆様を講師に迎え、事例発表を行いました。

那須ブロックの5つの支部で行われている活動について、それぞれの支部で大切にしているビジョンを中心に説明があり、多様な活動についての紹介がありました。実体験に基づいた貴重なお話を聴くことで、受講者は支部活動の様子や指導者としての関わり方について学ぶことができました。

### ○ 演習「親学習プログラムについて」

#### 栃木県オピニオンリーダー連合会那須ブロック

演習では親学習プログラム「子どもとのコミュニケーション」を体験しました。

ホワイトボードを活用しての意見交換、ポリスチレン板があっても声が聞き取りやすいような場の設定など、コロナ禍でも受講者が安心して演習に取り組めるよう、様々な工夫を凝らし実施しました。このような中、受講者は、ファシリテーターとしてプログラムをどのように進めるのか、参加者とどう関わるのかなど多くのポイントを学びました。

## 【午後の研修】

### ○ とちぎ県政出前講座「地域における子育て支援」

#### 栃木県保健福祉部子ども政策課 主事 佐藤 亮太 氏

日本と栃木県の少子化の状況、出生率の推移、今後の人口構造の変化などについて、「とちぎの子ども・子育て支援条例」や「とちぎ創生15戦略（第2期）」等に基づいて説明がありました。

受講者は、待機児童対策や児童虐待防止、貧困対策など、計画的に推進される各種支援施策の概要、各市町に設立されている子育て支援センターとの連携などについて学びました。

### ○ 演習「コミュニケーションの技法について」

#### 総合教育センター職員

望ましいコミュニケーションに必要な話の聴き方や伝え方のポイントについて説明がありました。受講者は、「傾聴」のスキルを学ぶペアワークを行い、相手の気持ちを尊重して聴くことにより、相手が話しやすくなり、信頼関係の構築にもつながることを実感していました。



## ☆受講者の声（アンケートから）

- ・親学習プログラムの具体的な使い方、進め方を実際に経験することにより何のために行うのか、どんなことに気づいてもらえるかといふのがよくわかりました。
- ・親学習プログラムの演習では、自分と重なる部分が多くあり、子どもに対して向き合って話をきかなければなど改めて感じました。
- ・コミュニケーションの演習では、自分自身をふりかえりながら楽しく参加できました。講座に生かせる技をいただきました。
- ・県の施策について新しく知りたかったことがたくさんあり、参考になりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp